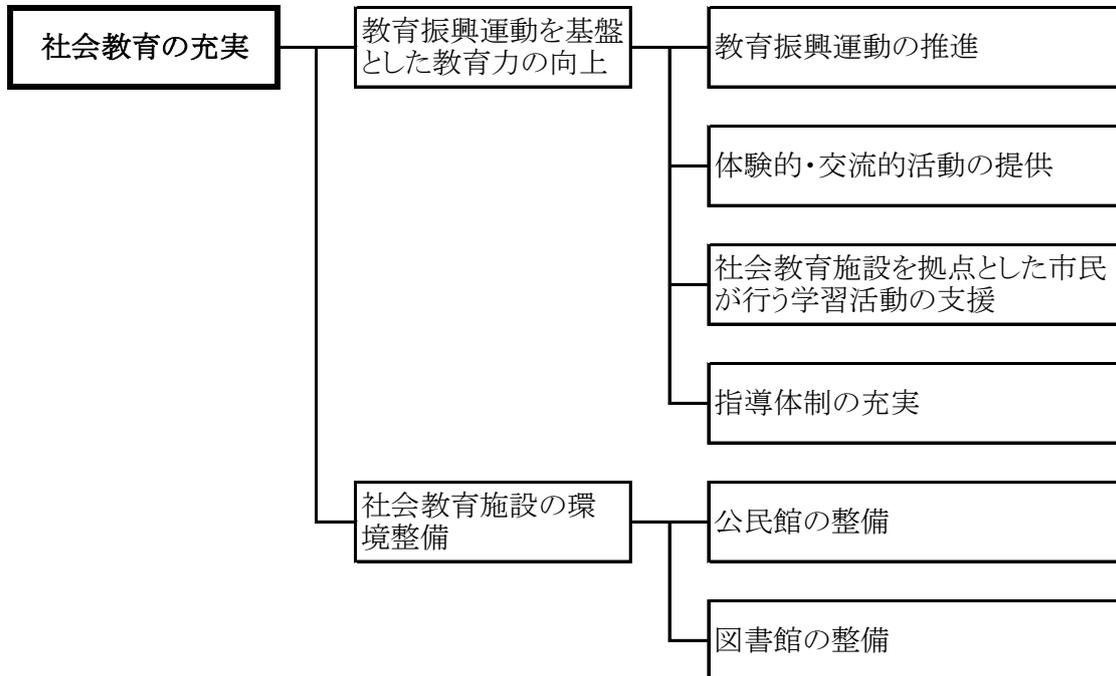


3 社会教育の充実

■体系



(1) 教育振興運動を基盤とした教育力の向上

① 教育振興運動の推進

【現状と課題】

生活様式の変化や少子化の進行、地縁的な繋がり希薄化等により、家庭や地域社会における教育力の低下が指摘される中、家庭や地域が果たすべき教育機能を回復し、地域の教育力をより一層強化していくことが課題となっています。

二戸市における教育振興運動は、昭和40年から取り組み、昭和54年からは、心豊かで健全な子どもを育てるために、「健全育成」「学力向上」「健康安全」を活動の柱に、子ども・家庭・学校・地域・行政の5者が実践活動と相互協力の強化を図ってきました。子どもを取り巻く環境が変化する中で、5者の連携がますます重要になってきています。

【今後の方針と取組】

家庭・学校・地域の連携をより一層深め、教育振興運動の更なる充実を図り、地域全体で子どもを育む機運を高めます。

【主な事業】

- ・ 各学校における家庭教育学級の開催
- ・ 教育振興運動集約集会の開催
- ・ 「家庭教育の手引き」の発刊

●数値目標

評価指標	現 状	数値目標	
	平成 26 年度	28 年度	32 年度
家庭教育学級開催数（回）	44	46	48



教育振興運動集約集会

② 体験的・交流的活動の提供

【現状と課題】

都市化や少子高齢化に伴い、地縁的な繋がり希薄化が懸念されていることから、子どもたちが日常の中で多くの人と関わり様々な体験活動を行なう機会や、郷土への理解を深める学習の機会が求められています。

また、若者の就職や就業をめぐる環境が大きく変化している今日、将来直面するであろう課題に柔軟に対応し主体的に進路を選択できるよう、子どもたちが社会人・職業人としての生き方を考える機会の提供が必要とされています。

【今後の方針と取組】

地域の自然や施設、人材などを活用した体験的・交流的活動の提供に努め、青少年の豊かな人間性や「生きる力」を育みます。また、地域の良さを子どもたちが改めて認識する機会を提供し、生まれ育った地域の発展に積極的に貢献しようとする人材の育成につなげます。

【主な事業】

- ・ 槻陰舎きぼう塾の開催
- ・ にのへ土曜チャレンジ塾の開催
- ・ 放課後子ども教室の開催

●数値目標

評価指標	現 状	数値目標	
	平成 26 年度	28 年度	32 年度
槻陰舎きぼう塾開催数（回）	5	5	5



槻陰舎きぼう塾 蓑ヶ坂トレッキング

③ 社会教育施設を拠点とした市民が行う学習活動の支援

【現状と課題】

生活意識の変化や価値観の多様化、高齢化などに伴い、生きがいや楽しみのある学習を求める声が高まる一方で、国際化や情報化、科学技術の発展などにより、高度で体系的・継続的な学習による知識や技能の習得も必要とされています。

市民一人ひとりが生涯にわたって学ぶ楽しみを持ち、学習活動に取り組むことができるよう市民の学習ニーズを十分に把握するとともに、社会教育施設を拠点に、現代的課題の解決に繋がる学習や地域づくりに役立つ学習等、社会の要請に応える学習機会の充実を図ることが望まれます。

また、次世代の育成や地域課題に取り組んでいる社会教育団体へ支援を行い、地域の社会教育活動の推進につなげることも必要です。

【今後の方針と取組】

公民館講座を始めとして、子どもから大人まで、ライフステージに応じて幅広く学習できるよう各種講座の充実に努めるとともに、社会教育団体への支援を行い、市民の学習活動を支えます。

公民館や図書館などの社会教育施設では、「地域における学習の拠点」としての機能を果たすため、市民のニーズに応えるサービスの充実に努めます。

【主な事業】

- ・ 多様な学習ニーズに応える講座の開催
- ・ 社会教育団体の支援
- ・ 図書に親しむまち推進事業

●数値目標

評価指標	現 状	数値目標	
	平成 26 年度	28 年度	32 年度
市立公民館講座実施回数（回）	203	207	207
市立図書館貸出冊数（冊）	91,700	91,800	92,000
カシオペアセンター図書室 貸出冊数（冊）	6,402	6,450	6,500

④ 指導体制の充実

【現状と課題】

社会教育事業の推進にあたっては、市民や関係団体等からの問い合わせや相談に対し適正な指導・助言ができるよう、関係機関との連携を図りながら、専門職員の配置や関係者の資質向上に努め、指導体制を強化していく必要があります。

【今後の方針と取組】

専門職員である社会教育主事や社会教育指導員の配置を継続するとともに、社会教育行政に関わる職員等の計画的な養成に努めます。

【主な事業】

- ・ 専門職員の配置
- ・ 各種研修や大会等への社会教育関係者の参加

●数値目標

評価指標	現 状	数値目標	
	平成 26 年度	28 年度	32 年度
岩手県立生涯学習推進センター 研修参加者数（人）	32	34	36

(2) 社会教育施設的环境整備

① 公民館の整備

【現状と課題】

市民の生涯学習活動を支える施設として、市内4つの市立公民館と1つの図書館のほかに、地域集会施設と学校教育施設があります。

この中で、中央公民館は昭和40年、金田一コミュニティセンターは平成7年、石切所公民館は昭和58年、浄法寺カシオペアセンターは平成4年、図書館は昭和59年に完成しており、特に、中央公民館の老朽化が進んでいます。

【今後の方針と取組】

中央公民館については、地区公民館などの関連施設や類似施設との効果的活用のあり方等を含め、今後の整備の方向性を検討します。

また、その他の地区公民館についても、施設の計画的な改修に努めます。

【主な事業】

- ・ 中央公民館整備の方向性の検討
- ・ 施設の計画的改修

② 図書館の整備

【現状と課題】

図書館は、子どもから高齢者まで、誰もが気軽に利用できる生涯学習の拠点であり、生活の質を豊かにする施設です。

学習を支える蔵書の充実とともに、施設の適切な維持管理を行い、安心して利用できる環境づくりが必要です。

【今後の方針と取組】

社会の変化に対応した利用しやすい施設設備、資料の充実を図るため、計画的な蔵書の収集と施設設備の改修、図書館情報提供システムの更新を行い、利用環境の整備を行います。

【主な事業】

- ・ 蔵書の充実
- ・ 施設の計画的改修

●数値目標

評価指標	現 状	数値目標	
	平成 26 年度	28 年度	32 年度
市立図書館蔵書冊数（冊）	95,307	96,000	97,000
カシオペアセンター図書室 蔵書冊数（冊）	30,570	32,000	35,000



平成 24 年 4 月にリニューアルした市立図書館